



市内の区長が一堂に
平成18年 区長総会
4月21日、各集落の区長さん100人が市民会館に集まり、区長総会が開催されました。当日の議題と市長答弁の概略をお伝えします。

■飯山市の雪対策について
(飯山地区) ①機械除雪について、人家の連坦する所では突き出しの確保が困難で、現在の市道除雪方法について抜本的な検討、早目の対応を。また早朝除雪の定時確保、道路、突き出し場所の計画的排雪をお願いしたい。②消雪パイプ・無散水道路について、消雪できない場所は機械除雪を。機能が低下している箇所は改善を、水量不足はボーリングや水源確保の検討をお願いしたい。③流雪溝について、水源の確保を。流雪溝の電気契約は24時間契約と

し、既設の揚水ポンプはシーズン前に必ずメンテナンス実施を。また揚水ポンプに頼らない流雪溝全体計画の見直しを早急をお願いしたい。④融雪屋根を普及させる施策の充実を。また今冬を振り返り市の雪対策について考えを聞かせてほしい。

●市長 ①今冬は道路除雪の雪が十分突き出せない状態となりご迷惑をかけた。自衛隊等の支援等で弱者の対応をしていたが、オペレーターには不眠不休の作業により生活道路としての道路除雪は、一車線確保を目標に行った。今後

除排雪、突き出し個所の確保には、反省会の開催等により検討を行う。区長さんにおいても、突き出し個所の確保、区民の協力体制について、一層のご理解ご協力をお願いしたい。②今冬は連続した降雪により、水源の井戸の水位が低下し、雪が解けない個所があった。消雪できない個所は機械による除排雪を行ったが十分ではなかったため、今後検討していきたい。③流雪溝について水源の確保は最大の課題。しかし現状では難しく、今のところ都市下水の揚水ポンプによる反復利用が最適と考える。整備計画は市街地全体が対象となっている。今後国、県と補助金等について、打ち合わせしていきたい。電気契約は中部電力と検討していきたい。

④雪が多いほど、地域住民がお互いにルールを守り協力し対応していただくことで、施設整備されたものの効果が十分発揮されると考える。融雪屋根の普及は融雪・落雪式に改築される方に一定の条件により工事費の10分の1を補助する制度を設けている。

■通学児童の交通・防犯安全対策について(秋津地区) ①国道117号バイパスの歩道除雪を行ってほしい。

②南高くベイシア間の市道と旧奥道妙高高原線の交差点で事故が頻発しており、昨年標識等設置されたが、また事故が発生している。更なる対策をお願いしたい。

●市長 ①現在通学路は旧県道を使用しており、バイパスの歩道除雪は実施していないが、秋津小学校として冬期間も通学路として利用したいのであれば、道路管理者である飯山建設事務所へ要望したい。②飯山警察署からの指導をいただき、優先道路の見直し等、事故防止に努めたい。

■市道3-381、3-392号(根越防災道路)の早期舗装完了と待避所の設置について(木島地区) 〇市道3-380、3-381、3-392号は「根越防災道路」として木島地区の水害時の避難路として大切な道路です。ぜひ早期舗装完了と待避所の設置をお願いしたい。

●市長 舗装は原材料支給事業として安田区で一部実施済み。今後は協働のみちづくりに事業により予定しているが、

延長が長いため、市内全体の事業配分、緊急度等を勘案し決定するがご理解いただきたい。待避所は、地元関係者に立会いをお願いし、計画的に進めるよう検討したい。

■常盤地区における内水排除、千曲川堤防漏水対策について(常盤地区) ①広井川排水ポンプを1基増設し、当初計画とおり9基となるよう関係機関に働きかけられたい。②昨年の千曲川増水により、小沼、戸隠集落に関係する堤内への漏水が見られたが、決壊等起きぬよう、未然の防止策を講じられたい。

●市長 ①市としては、今井川の内水対策と関連し、さらに排水ポンプの増設に向け期成同盟会とともに国土交通省・河川事務所等へ要望を強めていきたい。②16年度の千曲川増水の際に常盤側堤内で発生した漏水は復旧事業を実施している。小規模な漏水は河川事務所のパトロールでも見つけにくいので、地域の方々に協力いただきながら、早期発見・災害防止に努めていきたい。

■千曲川下流域における無堤地区の解消と桑名川築堤の整備促進について(岡山地区)

〇下境区などの無堤地区では増水のために人家・農地が浸水し、県道も冠水等により通行止めとなっている。また同様に桑名川でも築堤整備事業が3分の1程度しか進んでいないため、無堤地区の解消築堤事業の整備促進を図っていただくよう、国への働きかけ等、市でも積極的な取り組みをお願いしたい。

●市長 下境の築堤工事は用地を県で買収済み。新幹線建設発生土を活用し盛り立てる予定だが、早期に実施されるよう県へ要望していきたい。桑名川築堤については、市川橋下流左岸の築堤は17年度で完了した。またこの箇所には内水排除ポンプを増設する計画である。今後は上流左岸の築堤を実施する予定で、早期に事業実施できるように県へ要望していきたい。皆さんの協力もあわせてお願いしたい。

の検討をお願いしたい。

●市長 鉄道・運輸機構では水道水の当面の確保対策として、緊急対応工事、代替水源確保のための調査を行っているところだが、トンネル工事との因果関係が見込まれる箇所は雪解け後に現地調査の上、対応を検討実施していく。市としても鉄道・運輸機構と連携し、今後も重要な問題として対応していきたい。

■行政に期待するもの(富倉地区) ①人口減少に対して自立に向けた政策で、市としてどんな取り組みをしていくのか。②活性化センターの今後の存続について。③利用が減少している富倉地区の公共交通について今後どのような手段を考えているのか。

●市長 ①過疎化の歯止め、定住対策には長年取り組んでいるが、今年度は自立計画と8つの重要施策の中で総合的に対応し、皆さんと知恵を出し合いながら、人口増を目指し取り組んでいきたい。②活性化センターは協働の取り組みを進める上で欠かせない施設だと考えているので、しっかりと守っていききたい。当面は現職員体制を維持するが、いざずれ検討すべき時期が来るとも

思っている。③バス交通は「デマンド」と呼ばれる乗り合いタクシー的な方式を検討中で、試験運行、説明会等により内容をよくご理解いただいた上で、順次新方式へ移行していく。

■旅産業にぎわい創出へのさらなる期待(太田地区) 〇太田地区は、地区民が自由に発言、地域の将来を語る雰囲気がある。問近に迫る新幹線の開業を前に、夢を語るやう気のある地域への行政投資を進めるべきと提言する。また行政と地域が一体となった「旅産業にぎわい創出」事業の更なる拡大に期待している。

●市長 地域の発展を真に願うやう気のある地域・集団には支援していきたいと考えており、太田地区の取り組みにも大いに期待している。旅産業にぎわい創出はスキー観光やグリーンツーリズム事業の土台の上に築こうというもの。期待に応えるよう気を引き締めて事業推進をしていきたい。

■かまくら祭りへの支援について(外様地区) 〇かまくら祭りの開催には地域を挙げて取り組んでいるところであるが、今後より多くのお客様を迎えるにあたり、次のとおり

支援をお願いしたい。①スキー場閉鎖による冬期間の誘客への取り組み支援②かまくら祭り開催による市内経済の活性化をふまえての財政的支援の拡大③誘客の拡大による対応人員不足解消の支援④ポスター、市報、パンフレット、iネット等によるPR宣伝への支援

●市長 ①スキー場だけでなく、かまくら祭りのような新たな冬期間における誘客の展開は不可欠であると考えている。市では各観光協会が取り組む冬期間の誘客事業に支援をし

中央橋の早期架け替えを決議

これら各地区からの協議事項の発表後には、総会の決議案が提案され、老朽化が進み幅員が狭く、岳北消防本部からの緊急車両の通行に苦慮していたり、開業を控えた新幹線飯山駅と北信広域市町村を結ぶ要所になるとして、国道403号橋梁「中央橋」の早期架け替えが決議されました。

→木島地区区長会丸山会長より決議が朗読されました。

■北陸新幹線飯山トンネル工事に伴う柳原地区水枯れ問題対策について(柳原地区) 〇飯山トンネル工事が原因と思われる周辺水源の枯渇、農業用水等の減水が見受けられる。渇水期の水源確保、また鉄道建設・運輸施設整備支援機構には問題への恒久的対策

ていきたい。②17年度は市からも、かまくら祭りに支援を行ったところだが、今後も可能な範囲で協力をしていきたい。③観光客の増加に伴う人員不足に対しては、地元・観光協会でも対応をお願いしたい。④各単協独自に作成するパンフレット等への支援は考えていないが、PR宣伝は飯山市観光協会が中心となり、観光情報の発信に努めている。今後も情報を頂ければあらゆるメディアを通じてPRしていく。

ていきたい。②17年度は市からも、かまくら祭りに支援を行ったところだが、今後も可能な範囲で協力をしていきたい。③観光客の増加に伴う人員不足に対しては、地元・観光協会でも対応をお願いしたい。④各単協独自に作成するパンフレット等への支援は考えていないが、PR宣伝は飯山市観光協会が中心となり、観光情報の発信に努めている。今後も情報を頂ければあらゆるメディアを通じてPRしていく。

ていきたい。②17年度は市からも、かまくら祭りに支援を行ったところだが、今後も可能な範囲で協力をしていきたい。③観光客の増加に伴う人員不足に対しては、地元・観光協会でも対応をお願いしたい。④各単協独自に作成するパンフレット等への支援は考えていないが、PR宣伝は飯山市観光協会が中心となり、観光情報の発信に努めている。今後も情報を頂ければあらゆるメディアを通じてPRしていく。

ていきたい。②17年度は市からも、かまくら祭りに支援を行ったところだが、今後も可能な範囲で協力をしていきたい。③観光客の増加に伴う人員不足に対しては、地元・観光協会でも対応をお願いしたい。④各単協独自に作成するパンフレット等への支援は考えていないが、PR宣伝は飯山市観光協会が中心となり、観光情報の発信に努めている。今後も情報を頂ければあらゆるメディアを通じてPRしていく。